

## 憲法と私

匿名希望

憲法と自分が結びついていることは全然実感がないから深く考えたこともないし、憲法とは何かとかも考えたことがなく十五年間生きてきてはつきりいつても分かりません。

なので生きてきてよかったことやうれしいことそれは憲法に結びついているかはわからないけどかいてみます。

小学校六年生の時に授業の一貫で韓国の女性がいろんな事をおしえに私の学校に来てくれるというのがあり、それが決まったその後で、ハングル語であいさつの手紙や会話の勉強をしていました。しかし私はハングル語の勉強をクラスのみなどと一緒にできませんでした。

なぜなら、私は来てもらえると決まったその日から肝炎になり学校に二週間行けなくなりました。その上、韓国の女性が来るのは私が行けない間でとても悔しかったのを覚えています。

私は学校がとても好きです。勉強はあまり好きではないけど大好きな友達と会えること、いろんな話ができることがすきなので二週間行けないことはとてもいやでした。

そのことはもちろん家族や先生も気づいていたことは知っていたのですがまさか友達まで私の気持ちに気づいていたとは思っていませんでした。

私が学校を休んですこしたった時友達から電話があってその日の話をしてくれました。とてもうれしかったのではやく治そうと思いました。そして次の日もその次の日もずーっと私が学校に行けるようになるまでの間その友達は電話をしてくれました。

本当にいい友達を持ったなあと思いました。これももし「義務教育」がなくて学校に行っていなければこんな良い友達と出会っていなくて、「学校に行く」という行動を好きになれずに「ひとりぼっち」という世界をひとりでただ何も感じずに生きて行き「社会」という広い世界に立たされた時まずはじめに何をするのかわからずただひとりで抱えこみ狭い視野でしかみれずに「社会」という世界でもひとりなのかと考えたら今自分が生きている世界はきっと『ひとりぼっち』ではなくて、『明るく、そしてみんなと生きている世界』なんだとこれを書いてあらためて感じました。そして少しだけ憲法と関係のあることも感じました。